

令和4年6月14日
独立行政法人大学入試センター

大学入試センターにおける CBT 調査研究の成果物の公表について

大学入試センターにおいて実施した、大学入学者選抜における CBT (Computer-based Testing) の活用に関する調査研究の成果物について、以下のとおり公表します。なお、これらの調査研究は、文部科学省の大学改革推進等補助金により実施したものです。

(公表資料)

1. CBT での「情報 I」の出題に関する調査研究について (報告)

大学入試センターにおいては、過去の閣議決定等を踏まえ、共通テストにおける CBT の活用、特に「情報 I」の出題に当たっての CBT の活用について調査研究を実施してきました。令和7年度共通テストは PBT (Paper-based Testing) で実施することとされていますが、これまでの調査研究の成果を大学や高等学校等で活用してもらえよう、本報告書にまとめました。

2. 大学入試センターにおいて調査研究した PCI について

1. で紹介するとおり、大学入試センターにおいては、CBT での「情報 I」の出題に関する調査研究の中で、PCI (Portable Custom Interaction) についても調査研究しました。PCI とは、TAO など QTI (Question & Test Interoperability) 規格に準拠した CBT システムにおいて情報技術を活用する試験問題や独自形式の試験問題を導入するための取り決めです。

この調査研究を通じて、大学入試センターにおいては、「情報 I」で学ぶプログラミングやデータの活用についての問題を TAO などで出題するため3種類のモジュールを開発しました。そして、どなたにでもお使いいただけるようオープンソースとして公開しました。

本資料は、これらの PCI モジュール及びそのインストール方法について説明するものです(1. の付録1及び付録2-2と同内容)。

3. 個別大学の入学者選抜における CBT の活用事例集

令和3年度入学者選抜において CBT を活用した大学に対してヒアリングを行い、各大学の CBT 試験の実施方法等について本事例集にまとめました。